

日高の野菜・花き生育情報

新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町
《9月中旬～10月上旬》

令和5年9月15日発行
第5号
日高農業改良普及センター本所
Tel：0146-42-1489
Fax：0146-42-2521

【作物共通】

- ①外気温が徐々に低下し、夜間の気温も下がってくるため、夜温が確保できる時間帯に換気窓を閉めましょう。それに伴い、ハウス内の湿度が高まり、病害の発生しやすい状態になるため、日中の換気はこまめに行い、過湿状態の緩和を図りましょう。
- ②使用済みのセイヨウオオマルハナバチの巣箱は、最終処分を確実にいきましょう。
- ③台風や暴風雨が予報された時は、防風網の点検、ハウスの修理、被覆資材の修復、バンドの締め直し、支柱や筋交いの補強、ハウス周辺の排水溝を掘り下げるなどハウスの防災環境を整えておきましょう。また、台風や暴風雨が通過後もこれらを点検し、整備しましょう。
- ④大雨等により滞水が発生した圃場は、速やかに排水対策を行きましょう。

【野菜】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
ピーマン 無加温半促成 品種：みおぎ	<ul style="list-style-type: none">• おおむね順調であり、果実肥大も良好です。日焼け果が散見されています。• 作業は主枝15～18節目の収穫、整枝が行われています。• 草姿や果実肥大のすすみを確認し、かん水は適宜行いましょう。• 夜温が下がって来る時期となります。ハウス側窓の開閉は適切に行いましょう。	<ul style="list-style-type: none">• アブラムシ類、アザミウマ類、チョウ目幼虫（ヨトウガ、オオタバコガ）が発生しています。  <p>【オオタバコガ】</p> <ul style="list-style-type: none">• 灰色かび病、斑点病が増加する時期となります。予防を意識して防除を徹底しましょう。
ミニトマト 7月定植 品種：キャロル10	<ul style="list-style-type: none">• 生育は概ね順調ですが、高温が続いたことにより花飛びや裂果が散見されます。十分に肥大せず細長くなっている果実も発生しています。こまめなかん水を実施しましょう。• 作業は葉かき、芯止め、収穫が行われています。• 気温の変化が大きい時期です。夜温は13度以上を確保し、昼間との気温差が大きくなるよう換気などを行いましょう。	<ul style="list-style-type: none">• 斑点病、葉かび病が散見されます。使用する農薬は症状に合わせた効果（予防・治療）のものを選択しましょう。  <p>【斑点病】</p>

<p>いちご 夏秋どり (高設栽培) 品種：すずあかね</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生育は概ね順調ですが、株疲れにより果実は小玉傾向です。 • 作業は収穫、摘葉、摘果、芽かき、ランナー除去、収穫後の果房除去などの株管理が行われています。 • 排液率 20～30%を目指し、給液の量や回数を調整しましょう。 • 葉色が薄い・葉柄が赤い等、株疲れが見られる場合は、葉面散布の実施も検討しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • アザミウマ類が散見され、一部ほ場でアブラムシ類が見られます。 • 高温により乱形果、まだら果、先詰まり果等が発生していますので、早めの摘果をしましょう。  <p>【まだら果】</p>
---	---	---

【花 き】

作物名	生育状況・管理のポイント	病害虫・生理障害等
<p>デルフィニウム ハウス作型</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 高温の影響により、草丈がやや短い状態での開花や花弁の変色（青色系に赤みが入る）が見られています。 • 作業は順次、定植～採花が行われています。 • 高温の影響で根張りが弱い傾向で些細なストレスで生理障害などの影響を受けやすい状況です。こまめな温度管理、水管理を徹底してください。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部でヨトウガやケウなどの発生が見られています。  <p>【ヨトウガの卵塊】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 灰色かび病、うどんこ病は少なめですが、今後発生が増加しやすくなる時期ですので、予察と防除を徹底しましょう。

★農薬を使用する場合は、必ず使用基準を守りましょう★